

迷惑メール対策に関するアンケート調査結果

～「URLリンク付きメール受信拒否機能」をご利用のお客さまの9割以上が、迷惑メールが減少したと体感～

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は、ボーダフォン携帯電話をご利用のお客さまを対象に、迷惑メール対策とその効果に関するアンケート調査を2005年12月に実施しました。その結果、2005年3月に導入した「URLリンク付きメール受信拒否機能」をご利用のお客さまの9割以上が、「迷惑メールが減少した」と体感していることが判明しました。また、「URLリンク付きメール受信拒否機能」をご利用のお客さまの約8割が、1日に受信する迷惑メールが0～1件になったと実感していることも分かりました。

「URLリンク付きメール受信拒否機能」は、ネットスター株式会社が提供するURLデータベースを採用したNEC製のメールフィルタリング装置を導入することにより、インターネットから送られてくるメールに含まれるURLが、同データベースに登録された、いわゆる「出会い系サイト」やアダルトサイトなどの特定カテゴリーのURLと一致する場合は受信拒否できるようにするものです。

お客さまは、インターネット接続サービス「ボーダフォンライブ！」のウェブや、ボーダフォンホームページのオリジナルメール設定ページ(<https://www.email.vodafone.ne.jp/>)から、URLリンク付きメールの受信について、「受け取る」「URLを含むメールをすべて受け取らない」「特定URLを含むメールのみ受け取らない」のいずれかに設定できます。

なお、「URLリンク付きメール受信拒否機能」の認知率は43%で、また、(URLリンク付きメールをすべて)「受け取る」が初期設定となっていることもあり、「URLを含むメールをすべて受け取らない」や「特定URLを含むメールのみ受け取らない」に設定されているお客さまは一部にとどまっています。

今回のアンケート調査結果から、「URLリンク付きメール受信拒否機能」をご利用いただくことにより、お客さまが受信する迷惑メールが減少し、「ボーダフォンライブ！」のメールサービスをより快適にご利用いただけるようになることが明らかになりました。また、これによりボーダフォンのメールサーバーに流入する迷惑メールも減少するため、ボーダフォンでは「URLリンク付きメール受信拒否機能」や「なりすましメール受信拒否機能」といった効果の高い迷惑メール対策をより多くのお客さまにご利用いただけるよう、ボーダフォンショップや総合カタログ、ホームページ、請求書同封物など、お客さまとの接点となるあらゆる場所、媒体において訴求していきたいと考えています。

ボーダフォンでは、今回のアンケート調査結果を今後の迷惑メール対策の強化に活かすとともに、迷惑メール対策ワーキンググループ「JEAG」の活動とも連携しながら引き続き迷惑メール対策に取り組んでまいります。

迷惑メール対策に関するアンケート調査の概要および結果は、別紙をご参照ください。

Japan E-mail Anti-Abuse Group の略。ジエグ。日本国内の携帯電話事業者や主要インターネットサービスプロバイダーが、迷惑メール対策を業界全体で取り組むべき問題と位置づけ、技術的な見地から対策を検討・実施するため、2005年3月に共同で創設したワーキンググループ。

以上

- スカイメールは、ボーダフォン株式会社の登録商標です。
- Vodafone(ボーダフォン)、Vodafone live!(ボーダフォンライブ!)は、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。

<ポータフォン 迷惑メール対策に関するアンケート調査の概要>

【調査概要】

1. 調査期間: 2005年12月5日(月)～12月11日(日)
2. 調査方法: ウェブ調査
3. 調査対象: ポータフォン携帯電話をご利用のお客さま
4. 有効回答者数: 9,203人
5. 調査項目:
 - ・ 迷惑メール対策の設定方法の情報入手方法
 - ・ 迷惑メール対策で設定している、または知っている機能
 - ・ 「URLリンク付きメール受信拒否機能」を利用し、「URLを含むメールをすべて受け取らない」または「特定URLを含むメールのみ受け取らない」のいずれかに設定した後、受信する迷惑メールの件数の動向

【調査結果】

(サマリー)

- ・ 「URLリンク付きメール受信拒否機能」利用者の9割以上が、迷惑メールが減少したと体感
- ・ 「URLリンク付きメール受信拒否機能」利用者の約8割が、1日に受信する迷惑メールが0～1件になったと実感
- ・ 各種迷惑メール対策の認知率が低い。「URLリンク付きメール受信拒否機能」の認知率は43%

(主な設問と回答)

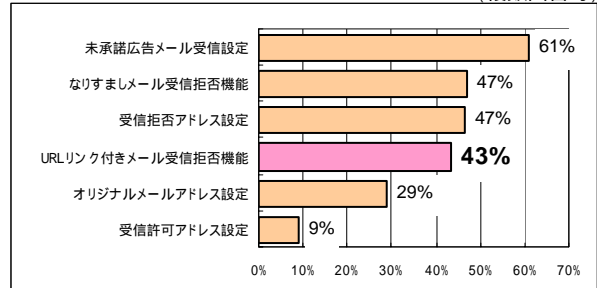
(1) 迷惑メール対策の情報入手方法ベスト5

(複数回答可)

第1位 請求書同封物、ダイレクトメール	48.6%
第2位 ポータフォンの総合カタログ	35.9%
第3位 ポータフォンライブ!(ウェブ)	34.8%
第4位 ポータフォンホームページ	24.7%
第5位 友人、知人、同僚	18.2%

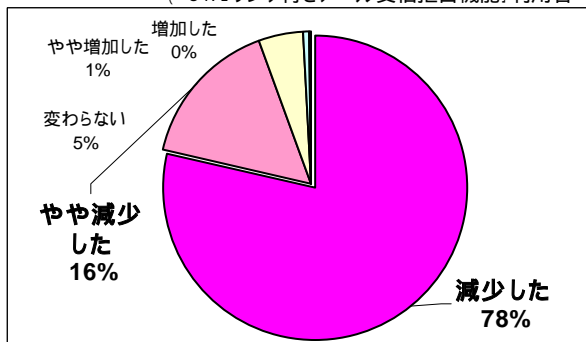
(2) 各種迷惑メール対策の認知率

(複数回答可)



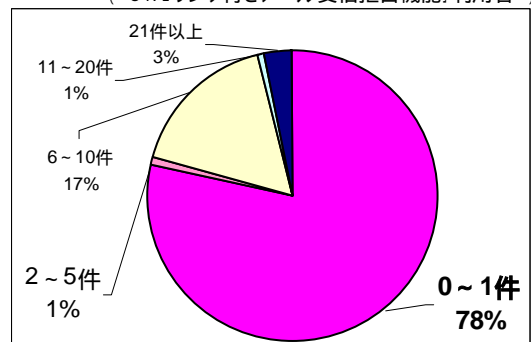
(3) 迷惑メールの増減状況

(「URLリンク付きメール受信拒否機能」利用者)



(4) 1日に受信する迷惑メールの件数

(「URLリンク付きメール受信拒否機能」利用者)



「URLを含むメールをすべて受け取らない」または「特定URLを含むメールのみ受け取らない」のいずれかに設定

< ボーダフォンの主な迷惑メール対策 >

主な迷惑メール対策	導入時期
ボーダフォン3G携帯電話のSMS(ショートメッセージサービス)において、送信数制限を導入 (1日に500件以上送信した場合、その後20日間規制)	2005年5月
「なりすましメール受信拒否機能」を導入 (パソコンなどを利用して送信したメールの送信元を、ボーダフォン携帯電話や他社携帯電話・PHSのメールアドレスに偽装した「なりすましメール」を受信拒否できるように)	2005年3月
「URLリンク付きメール受信拒否機能」を導入 (インターネットから送られてくるメールに含まれるURLが、「出会い系サイト」やアダルトサイトなどの特定カテゴリーのURLと一致する場合は受信拒否できるように)	2005年3月
ボーダフォン3G携帯電話のMMS(マルチメディアメッセージングサービス)において、送信数制限を導入 (24時間以内に1,000件以上の宛先に送信した場合、その後24時間規制)	2005年2月
ボーダフォン2G携帯電話のスカイメールにおいて、送信数制限を導入 (1日に500件以上送信した場合、その後20日間規制。ただし、スカイメールで3時間以内に120件以上の宛先にEメールを送信した場合、その後21時間規制)	2004年11月
ボーダフォン3G携帯電話(V8シリーズ)のVGSメールにおいて、送信数制限を導入 (3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制)	2004年3月
Eメールでの迷惑メール申告窓口(stop@meiwaku.vodafone.jp)を設置 (ボーダフォン携帯電話から不特定多数のボーダフォン携帯電話に送信される迷惑メールの情報を収集)	2004年2月
ボーダフォン2G携帯電話(V6・V5・J-5xシリーズ)のスーパーメールにおいて、送信数制限を導入 (3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制)	2003年12月
ボーダフォン2G携帯電話(V4・V3・V1・J-0xシリーズ)のロングメールにおいて、送信数制限を導入 (3時間以内に120件以上の宛先に送信した場合、その後21時間規制)	2003年12月
携帯電話番号のメールアドレスの新規取得を停止 (数字のゼロから始まるメールアドレスの取得を不可に)	2003年10月
「ボーダフォンライブ!」から受信可否アドレスの設定を可能に	2003年10月
「メール送信接続先特定サービス」を導入	2003年9月
ボーダフォン携帯電話から不特定多数に送信される迷惑メールについて、その契約者に対して書面による利用停止措置の警告文を送付	2003年8月
「Eメールヘッダ情報閲覧機能」を導入	2003年5月
ボーダフォン携帯電話から不特定多数に送信される迷惑メールについて、その契約者に対して書面による警告を開始	2003年3月
メールアドレスの初期設定をランダム化	2003年1月
「未承諾広告メール受信拒否機能」を導入	2002年8月
「ボーダフォンライブ!」からオリジナルメールアドレスの設定を可能に	2002年1月
大量な宛先不明メールに対する受信ブロック機能を導入	2002年1月
受信可否アドレスに設定できる件数を拡張(10件→20件) (メールアドレスやドメイン、ボーダフォン携帯電話番号を併用して登録可能に)	2001年12月

ボーダフォンの迷惑メール対策に関する詳細は、ボーダフォンホームページをご参照ください。

URL www.vodafone.jp/anti-spam/